

生誕100年 | 南桂子展

生誕100年を迎えた高岡市出身の銅版画家・南桂子(1911-2004)の画業を回顧し、全国を巡回する大規模な展覧会を開催します。南桂子は高岡高等女学校時代から詩作や絵画制作に親しみ、戦後は東京に出て童話を新聞に、油彩画を自由美術や朱葉会で発表しました。自由美術の画家・森芳雄のアトリエで、後に夫となる浜口陽三と出会ったことから銅版画の面白さを知り、1950年代からフランス、1980年代からアメリカと、およそ40年にわたり日本を離れて暮らし、銅版画の世界を深めていきました。少女や木や鳥をモチーフとして、詩や童話から抜け出たような、純粹な世界が描かれた透明感のある画面は、世界中の人々を魅了し、ユニセフ(国際連合児童基金)のカードや谷川俊太郎の詩集を飾るなど、国内外で静かな人気を誇ります。

このたびは、原版や素描の調査から初めて明らかになってきた、作者の作品を生みだすまでの細やかな工夫にも注目し、近年発見された最初期の銅版画、東京時代の油彩画をはじめ、プロセスがみえる素描、原版など初出品の資料を含めた約180点で銅版画家としての歩みを紹介し、年代順にその画業を見つめていきます。



『花の籠』
1955年(銅版画)高岡市美術館蔵



『2人の少女と猫』
1969年(銅版画)高岡市美術館蔵



『花と蝶』
1969年(銅版画)群馬県立館林美術館蔵



『魚の籠』
1970年(銅版画)京都国立近代美術館蔵



『みみづく』
1980年(銅版画)国立国際美術館蔵



『湖とシャトー(ススキ)』
1980年(銅版画)高岡市美術館蔵



『魚と少女』
1952年(油彩画)
ミュージアム浜口陽三・ヤマサコレクション蔵



作品名不詳(木陰の少女と2羽の鳥)
1954年頃(銅版画)国立国際美術館蔵



作品名不詳(木陰の少女と2羽の鳥)
1954年頃(原版)武蔵野市立吉祥寺美術館蔵

■ 関連行事

1. 童話と詩の朗読会「南桂子・言葉の世界」

日時: 7月2日(土)、17日(日)
※いずれも午後2時から
朗読: 市内朗読サークル「言の葉」
場所: ハイビジョンホール/アートホール
聴講無料

2. 座談会

「南桂子を語る—原版制作の実演をみながら」
日時: 7月10日(日) 午後2時から
ゲスト: 白井四子男氏(白井版画工房 摺師)
黒川公二氏(佐倉市立美術館 学芸員)
神尾玲子氏(群馬県立館林美術館 学芸員)
場所: ハイビジョンホール
聴講無料 ※協力: 文房堂

3. 大人のための連続講座～南桂子の魅力

第1回「モチーフでたどる」 7月3日(日)
第2回「線と模様でたどる」 7月9日(土)
第3回「技法でたどる」 7月16日(土)
第4回「素描からみる」 7月30日(土)
場所: アートホール
聴講無料、いずれも午後2時から30分程度、
興味のあるテーマを選んで聴講できます(申込不要)

4. 館長によるギャラリートーク

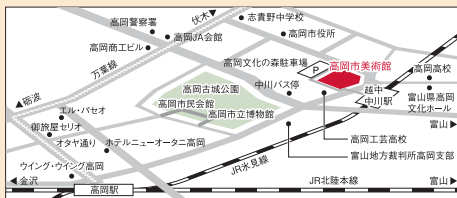
日時: 6月25日(土) 午後2時から
場所: 企画展示室
要観覧券
※学芸員によるギャラリートークは
7月18日(月・祝) 午後2時から行います。

5. 夏休み鑑賞講座「親子でみる・線の探検」

日時: 7月24日(日) 午後2時から
場所: 企画展示室とアートホール
対象: 小学校3、4年生とその保護者
定員: 10組(電話申込順、7月12日午前9時から受付開始)
参加無料・要観覧券

6. 夏休み体験講座

「ドライブポイントで版画をつくらう」
日時: 7月27日(水) 午後2時から
講師: 橋本文良(当館副館長)・辻弥生子(版画家)
場所: 地階ギャラリー
対象: 小学校5年生以上
定員: 16名(電話申込順、7月12日午前9時から受付開始)
参加費: 500円(材料代)



【交通のご案内】

- JR北陸本線高岡駅より
- 徒歩約20分(高岡駅より北東約2km)
- バス 富山行/石瀬行「中川バス停」下車、徒歩2分
富山市民病院行「工芸高校前バス停」下車、徒歩1分
- JR水見線「越中中川駅」下車、徒歩2分
能越自動車道 高岡北I.C.から約10分、高岡I.C.から約15分
北陸自動車道 小杉I.C.から約20分、砺波I.C.から約30分
- ※高岡市美術館地下駐車場は、2時間まで駐車料金無料
※高岡文化の森駐車場(屋外)は駐車料金無料



財団法人高岡市民文化振興事業団
高岡市美術館
TAKAOKA ART MUSEUM

〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号
TEL. 0766-20-1177 URL. <http://www.e-tam.info/>